



西東京の教育

=発行=
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311

=編集=
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成19年(2007年)11月1日発行 第30号

読書の秋

読書は、楽しみながら言葉を学ぶことができるだけでなく、感性を磨き、表現力を高めることができます。また、多くの知識や考え方、生き方に触れることで、心を豊かにすることができます。

西東京市は、平成18年3月に「西東京市子ども読書活動推進計画」を策定しました。様々な世代の子どもたちが、本に親しみ、自主的に読書に向かうことができる環境づくりに努め、子どもたちの「生きる力」の育成を推進しています。

今回は、「読書の秋」にちなみ、学校や市立図書館における様々な取り組みを紹介いたします。

教育指導課042(438)4075
図書館042(465)0823

学校の取り組み

全校一斉読書

登校後の授業前や朝学習の時間、休み時間や放課後などの時間に、「朝読書」や「一斉読書」と呼ばれる活動に取り組んでいる学校が多くあります。

全ての子どもが一斉に読書を行うことで、活字を目で追う雰囲気生まれ、どの子どもにも読み進めることができ、読書には、集中力を高める効果もあり、先生方から「落ち着いて授業を始められることができる」などの声が多く聞かれます。

一斉読書の効果は、何よりも読書習慣を身に付けさせることができることです。子どもたちの机の中には、常にお気に入りの本が用意され、少しの時間を見つけては読書をする子どもたちの姿も多く見られます。

一斉読書は、子どもたちが本を読むための時間を確実に確保する大切な機会であると考え、年間を通して教育活動に組み入れて取り組んでいます。



全校一斉朝読書をする田無第二中学校の生徒

読書月間・旬間・週間読書集会

良書を薦めたり、子どもと一緒に本を選んだりすることは、子どもたちに、本に対する興味をもたせる効果的な取り組みです。

学校では、集中して読書に取り組めるように、「読書月間」や「読書旬間」を設定しています。その際、読書集会を開いて司書教諭の先生や図書委員会の子どもたちによる推薦図書を紹介する活動を行っています。本への関心が高まり、紹介された本に人気が集まって貸し出しが間に合わないほどの反響があります。

「読書の秋」に向けて、様々な取り組みが計画されています。

読み聞かせ・ブックトーク

子どもたちに本の楽しさを味わわせるための活動に「読み聞かせ」や「ブックトーク」があり、多くの学校で行われています。

読み聞かせは、大人が本を読んで聞かせる活動です。特に、幼児や小学校低学年などの子どもに好評ですが、高学年の子どもたちも、物語の展開に引き込まれ、聞き入っています。

ブックトークは、本を紹介する方法の一つで、あるテーマに沿ったいくつかの本について、あらすじを紹介したり、一節を朗読したりします。紹介した本に興味をもたせ、本の世界を広げていく活動です。

そのほか、中学校では、「読書会」なども行われ、本に親しむ活動はさらに広がっています。



読み聞かせをする柳沢小学校の学校図書館専門員

学校図書館専門員

市内の全ての学校に学校の司書教諭を補佐する「学校図書館専門員」を配置しています。

学校図書館専門員は、司書や司書教諭の資格をもった職員です。高い専門性を生かし、教員や児童・生徒の図書に関する要望に応えたり、学校図書館を整備したりする仕事をしています。

学校の司書教諭が立案した学校図書館計画のもと、学校図書館専門員が協力することにより、気持ちよく読書することができ、環境が整備されています。

保護者・ボランティアの協力

学校図書館の運営に、保護者や地域のボランティアの方々から多くの支援をいただいています。

読み聞かせやブックトークの活動だけでなく、学校図書館の本の整理や季節の飾り付けなど、学校図書館を充実させる活動にも応援をいただいています。



栄小学校の読書を応援しているボランティアの方による読み聞かせ

市立図書館との連携

各学校の学校図書館にコンピュータを設置し、「学校図書館管理システム」を導入しています。学校の図書資料の全てにバーコードを付け、本の貸し出しや蔵書の管理をコンピュータで行っています。このシステムは、学校間や市立図書館ともネットワーク化されており、児童・生徒が読みたいと思う本を簡単に検索することができ、また、学校にない本については、他の学校や市立図書館の蔵書を検索して借り受けています。

さらに、市立図書館からの「団体貸出」により、多くの良書を長期間借り受けています。子どもたちが、読みたい本を読みたい時に手に取ることができます。環境が整っています。



団体貸出に拍車

西東京市立図書館では、「西東京市子ども読書活動推進計画」の一環として市内の児童館、学童、小・中学校など公共施設への団体貸出を行っています。貸出冊数は多摩26市の中でも第一位を誇るくらいに利用されています。特に小学校の学級文庫への貸し出しが顕著です。

学級文庫用の図書は、最寄りの図書館から借りることができ、生徒一人あたり3冊まで借りられますので、クラスに100冊くらいの本が並びます。

選書は、学校図書館専門員や担任の先生、あるいは引率されてきた生徒たちが直接図書館の本から選ばれます。

選書された本は、図書館から配送し、学校から集本をして図書館へ返却されます。

学期ごとの返却期限ですので、1学期間、ゆっくり読書に楽しむことができます。

今年、いつもと違って夏休みが続きとありましたが、やはり、学校図書館がますます充実してきたこと、先生方の読書に対する気持ちの強さの表れではないかと思えます。

今後は、学校図書館と市立図書館の連携をさらに深く、協力関係の強化を図りたいと考えています。

図書館の取り組み

多摩島しよ子ども体験塾「作家と語る」

西東京市図書館では今年度、市町村への助成金対象市になり子どもを対象にした講演会を企画しました。講演は2回に分け子どもたちによく知られている児童文学作家をお招きし、フリートークングをするという今回の企画は、図書館では初めての試みです。

第1回目は9月22日(土)に中央図書館で、「作家・松原秀行先生と語る」という小学校高学年以上を対象にした講演が行われました。

第2回目は11月24日(土)に「『さんねん峠』の著者李錦玉さんと話そう」という講演を予定しています。

3年生の教科書にも採用されている「三年とつげ」の著者である李錦玉さんの作品は、図書館でも、幼児から小学生によく知られています。

多くの子どもたちの参加を期待しています。

日時その他については、西東京市図書館のホームページや市報などをごらんください。

問合せ先 柳沢図書館
042(464)8240



作家松原秀行先生と語る